

地域資源：農林水産物、景観、文化  
 事業分野：食品、観光・旅行、イベント  
 事業主体：協議会、各地域団体、行政機関

○先人達が築き守り「日本の棚田百選」にも選ばれた美しい棚田と、棚田を中心に培われてきた文化・伝統を後世に残すため、協議会を設立。大学や企業と連携して、担い手の確保・農産物の販売・伝統行事への参加等を促進。

### 基本情報

- 所在地：香川県小豆島町
- 選定表彰：
  - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門農林水産大臣賞
  - ・「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定（R4）
- 主力商品・イベント：
  - ・棚田の景観
  - ・棚田米とその加工食品
  - ・伝統文化（中山農村歌舞伎、虫送り）
- 活用した支援施策：
  - ・中山間地域等直接支払
  - ・多面的機能支払制度（ほか）

### 取組の概要

- 担い手育成のための「棚田アカデミー」を実施するほか、大学生による耕作ボランティアの受け入れ、棚田耕作体験の支援、地域おこし協力隊の採用により棚田保全に取り組む。
- 収穫した米は、地元小中学校の給食、ホテルで提供するとともに、棚田米をふるさと納税返礼品として採用。また、地元酒造会社と連携し、棚田米を原料とした日本酒を販売。
- 重要有形民俗文化財でもある舞台上演される「中山農村歌舞伎」を伝承。途絶えていた伝統行事「虫送り」を復活。現代アートによる「瀬戸内国際芸術祭」にも協力。



棚田耕作体験（稲刈り）



棚田米を原料とした日本酒



伝統行事「虫送り」

### 体制図



### 取組の成果

- 中山千枚田（約12ha）に占める荒廃農地の解消：  
1.8ha(15%)（H24）⇒ 0.5ha(4%)（R3）
- 中山千枚田の担い手確保・保全のため「棚田アカデミー」を立ち上げ、1企業2個人が参加（R4）

### ウェブサイト

▶ <https://www.town.shodoshima.lg.jp/gyousei/kakuka/norinsuisan/nougyou/5258.html>

地域資源：ジビエ、木材、森林、空き家、廃校  
 事業分野：食品、観光・旅行、イベント  
 事業主体：地元協議会


○廃校となった小学校の活用方法の検討を契機に「自然、人、コミュニティの力」を理念とした協議会を起ち上げ、木材、ジビエ、空き家等、様々な地域資源を活用し、地域活性化、魅力発信に取り組む。

### 基本情報


- 所在地：香川県東かがわ市
- 選定表彰：
  - ・さぬきの棚田アワード（R3）
  - ・第5回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定（H30）
  - ・全国地域づくり推進協議会会長賞（H18）
- 主力商品・イベント：
  - ・ジビエ
  - ・木材加工品
  - ・飲食店
  - ・宿泊体験
  - ・五名3大まつり
- 活用した支援施策：
  - ・地域創生推進交付金（H28～H30）
  - ・香川県里山資源活用推進事業（H27～R1）

### 取組の概要


- 里山整備に伴い発生する木材を、薪や炭などに加工して販売するとともに、獣害対策で捕獲したシカ、イノシシを食肉加工し、「五名ジビエ」として販売。
- 空き家となった古民家を移住者向けの体験宿泊所として運営するほか、五名マップの作製や子どもたちを対象とした体験イベント「五名で遊ぼう！」などを実施。
- 「五名ふるさとの家」をオープンさせ、地元の特産品を活かした産直カフェ運営により、地域の魅力を発信。



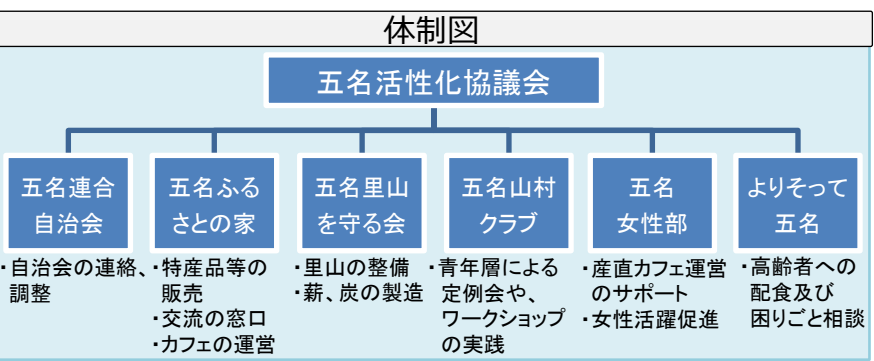
捕獲したイノシシの食肉加工



里山整備に伴い発生する木材の加工利用

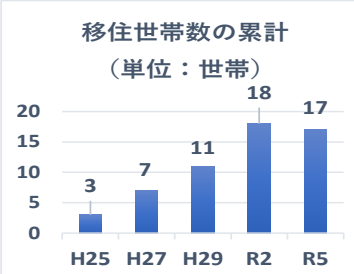


産直カフェ「五名ふるさとの家」



### 取組の成果

- 移住者数：17世帯37人（H25～R5）
- 里山整備によって得られる薪や炭及びイノシシ肉を活用したジビエ商品をふるさと納税の返礼品として活用。



移住世帯数の累計  
(単位：世帯)

年度	世帯数
H25	3
H27	7
H29	11
R2	18
R5	17

ウェブサイト ▶ <https://www.gom-you.com>

○生産者グループが、くらしを中心とする地域協同組合を選択し、柑橘の有機栽培、漁業連携、基準に見合わない柑橘の有効活用など、加工品を含めたブランド化を推進。地域女性活躍や福祉事業等の多角化により雇用の場を創出。

## 基本情報

- 所在地：愛媛県西予市
- 選定表彰：
  - ・平成28年度農林水産祭/むらづくり部門で天皇杯授与
  - ・サステイナブルコスメアワード2021ゴールド受賞/yaetoco（ヤエトコ）＊コスメ
  - ・令和3年度ふるさとづくり大賞総務大臣表彰
- 主力商品：
  - ・柑橘類等の農産物、ジュース等の加工食品
  - ・コスメ（yaetoco）、海産物、真珠
- 活用した支援施策：
  - ・果樹経営支援対策事業

## 取組の概要

- 地域の生産者グループとして創業し、国内有機農業の先駆けとして、柑橘類の栽培管理・販売システムの確立、加工品等のブランド化により生産者数・事業規模を拡大。
- 地域循環型一次産業モデルを目指し、漁業者と連携して、山と海的环境保全活動の実践、真珠や水産物等を加工・販売。
- 女性が活躍する配食サービスなどで雇用創出。地域住民が安心して暮らせる町づくりの一環として、福祉事業所を運営。
- 新規就農者の受け皿となる農業生産法人の設立、運営。若者が住みたくなる環境整備。



無茶々園の加工品

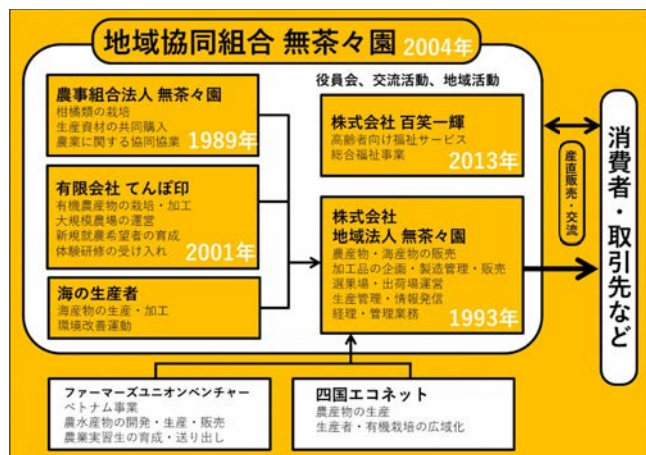


働きたい時間、働きたい場所を提供



新規就農者の生産法人・てんぼ印

## 体制図



## 取組の成果

- グループの売上：11億円超（R1）
- 生産販売事業では新規雇用者の7割が県外から社員58名で平均年齢39歳（福祉以外）
- 福祉事業では女性中心に63名が活躍（R2）

ウェブサイト▶<https://www.muchachaen.jp/>

# 遊子川地域活性化プロジェクトチーム 遊子川もりあげ隊

地域資源：農林水産物

事業分野：食品、観光・旅行

事業主体：地域住民、地域おこし協力隊、トマトオーナー等

○地域特産品のトマトを使ったトマト酢やケチャップの加工・販売、農家レストラン等の取組により、地域農業者の収益確保や雇用の場、交流人口の拡大等を図っているほか、草刈りや墓掃除などを提供する「なんでも屋ゆすかわ」、デマンドタクシー事業も展開。

## 基本情報

- 所在地：愛媛県西予市
- 選定表彰：
  - ・ 第5回「ディスカバー農山漁村の宝」(H27)
  - ・ 第15回オーライニッポン大賞ライフスタイル賞 (H29)
  - ・ フードアクションニッポンアワード2018
  - ・ 農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞(R3)
- 主力商品・イベント：
  - ・ トマト加工品（トマト酢、ケチャップ等）
  - ・ 農家レストラン「食堂ゆすかわ」
- 活用した支援施策：
  - ・ 都市農村共生・対流総合対策交付金（人材活用事業）
  - ・ 愛媛県6次産業化チャレンジ総合支援事業

## 取組の概要

- 規格外トマトを活用するため、特産品開発班がトマト酢やケチャップ等のトマト加工品の開発・販売を行うほか、JAの空き施設を活用した農家レストランも展開。
- 特産品開発班は「企業組合遊子川ザ・リコピンズ」として法人化。組合委員22人で構成し雇用創出に貢献。
- 遊子川トマトオーナー制度や移住体験ツアーを開始し、交流人口の拡大にも貢献。
- 「なんでも屋ゆすかわ」やデマンドタクシーなど生活・環境整備事業を実施。



トマトを活用した商品開発

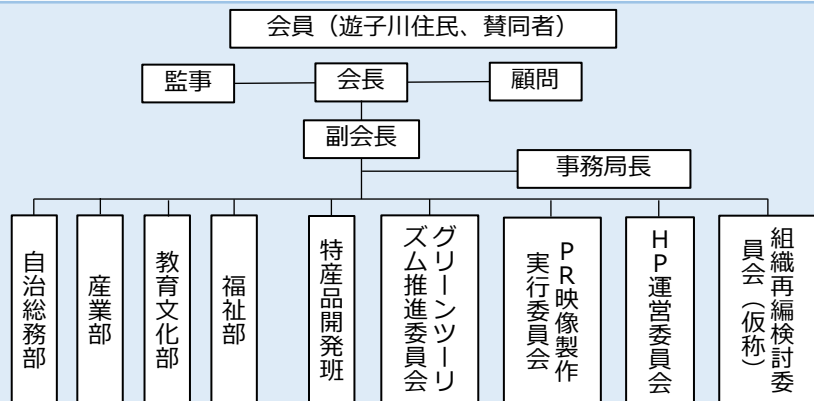


農家レストラン「食堂ゆすかわ」



デマンドタクシー

## 体制図



## 取組の成果

- トマト特産品の開発・販売 → 生産量1割ほどの規格外品の有効活用
- 特産品開発班を法人化 → 地域農業者の収益確保や雇用の場を創出
- トマトオーナー制度 → 毎年50口募集し、地域外からも多数応募
- 自主制作映画による魅力発信 → 取材や問合せ増加など、知名度向上
- 「なんでも屋ゆすかわ」、デマンドタクシー運行など → 地域実情を考慮した生活環境の改善・充実

ウェブサイト▶ <https://yusukawamoriagetai.com/>

地域資源：農林水産物、文化・風習  
 事業分野：食品、観光、福祉、健康ほか  
 事業主体：村内の各種団体や地域の代表者

- 「安心して生活できる村」を目指して、官民の垣根を超え、組織を設立。村の抱える課題解決のため、6つの部を設けて、生活、産業、福祉といった様々な活動に総合的に取り組む。

### 基本情報

- 所在地：高知県幡多郡三原村
- 主力商品・イベント：
  - ・三原米、刺身こんにゃく、ししとう、店舗運営（田舎料理レストラン）、コインランドリー、体験ミニツアー（古木めぐりなど）、ふれ合い活動（婚活イベント、健康セミナーなど）、販売イベント（村外で出張販売）
- 活用した支援施策：
  - ・高知県政策「小さな拠点づくり構想・集落活動センター」

### 取組の概要

- 店舗部：地元食材で日替定食を提供する田舎料理レストラン運営。弁当販売も実施。
- 福祉支援部：生きがづくり。各種イベントの実施。コインランドリー運営。
- 特産品販売促進部：食文化を引き継いだ商品の掘り起こしや開発。イベント販売等。
- 移住促進部：移住者と村民の交流会実施。移住促進住宅の指定管理。
- 生産部：ししとうのハウス栽培、三原米のブランド化を農事組合法人や研究会で実施。
- 観光部：村の資源を掘り起こして体験ミニツアー（古木めぐり、皿鉢づくり等）を実施。



やまびこカフェ

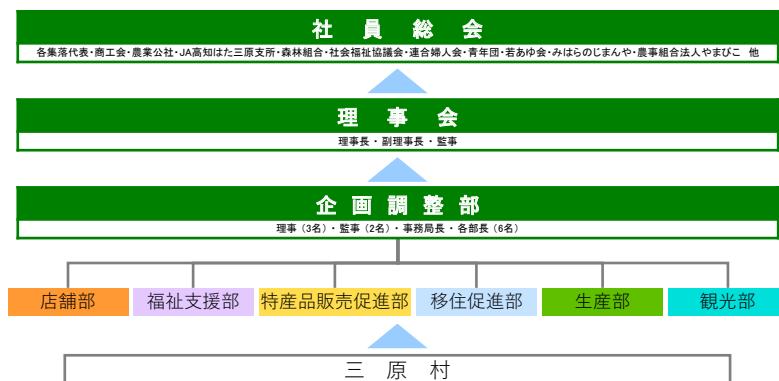


コインランドリー



ブランド米「水源のしずく」

### 体制図



### 取組の成果

- カフェ来客数：12,432人（H29）→ 13,119人（R1）
  - コインランドリー売上：1,426千円（H29）→ 1,852千円（R3）
  - 特産品販売売上：104千円（H29）→ 3,990千円（R1）
- ※カフェ来客数や特産品販売売上は、R2以降は新型コロナウイルスの影響あり。

ウェブサイト▶ <https://www.mihara-yamabiko.com/>

# 特定非営利活動法人 NPO砂浜美術館

地域資源：景観(自然)、農林水産物、スポーツ施設、防災文化  
事業分野：観光、旅行業(宿泊手配等)、教育、スポーツ、芸術  
事業主体：NPO法人、集落活動センター、ボランティア、大学

- 砂浜などの自然及び周辺のスポーツ、宿泊施設を地域資源とし、アートイベント、スポーツツーリズム、防災学習体験等の実施を通じ、関係人口創出を実現。ありのままの自然を、視点を変え、切り口を工夫することで活用。

## 基本情報

- 所在地：高知県黒潮町
- 選定表彰：
  - ・2016サントリー地域文化賞（H28）
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（農泊賞）（R5）
- 主力商品・イベント：
  - ・観光、アートイベント
  - ・スポーツ合宿・大会
  - ・旅行業(宿泊手配等)、産業体験
  - ・防災学習プログラム
- 活用した支援施策：
  - ・日本版DMO登録（観光庁）（H30.12～R5.3）

## 取組の概要

- 4kmの砂浜を美術館に見立て、四季折々のアートイベントを開催。町外からの運営ボランティアの宿泊と食事を中山間地にある集落活動センターから提供することを通じ、地元住民との交流を推進。
- 砂浜に隣接したスポーツ施設を活用し、地元の宿泊・弁当等の手配を組み込んだ合宿や大会を開催。
- 南海トラフ巨大地震の津波予測の公表をきっかけに防災学習プログラムを開発し、主に中高生の教育旅行を受入。
- 大学と連携した黒潮町産業連関表の作成により地域経済の現状を可視化。砂浜美術館を核とした新しい経済循環づくりに貢献。



Tシャツアート展



ボランティアスタッフと  
地域住民の交流



海の脅威を学ぶ  
防災学習プログラム

## 体制図



## 取組の成果

- 宿泊者数：12千人（H30） → 14.3千人（R4）
- スポーツツーリズム弁当売上：7.7百万円（H30） → 9.5百万円（R4）
- 防災学習プログラム体験者数：4人（H30） → 405人（R4）

ウェブサイト▶<https://sunabi.com/>

地域資源：農林水産物、食文化、耕作放棄地

事業分野：食品

事業主体：地元企業、生産者、行政、集落活動センター、大学

- 「耕作放棄地の活用、地域の活性化、雇用の創出」を目指し、ぶどう栽培に向かないとされる高知県において、地域の気候・風土に適したぶどうの栽培とワインの製造・販売を展開。ワインと食を軸とした関係人口の創出を図る。

### 基本情報

- 所在地：高知県香南市
- 選定表彰：
  - ・高知県地場産業大賞 地場産業賞 (R6)
  - ・日本ワインコンクール2023 銅賞 (R5)
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定 (R5)
  - ・Terroir.awards2023 新進気鋭賞 (R5)
  - ・日本山ぶどうワインコンクール 赤ワイン部門 茜賞 (R5)
  - ・高知県地場産業大賞 奨励賞 (R1)
- 主力商品・イベント：
  - ・ワイン、地域食材利用加工品
- 活用した支援施策：
  - ・第4期高知県産業振興計画 物部川地域アクションプラン（県産業振興推進総合支援事業）(R2)

### 取組の概要

- ぶどう生産に使用する石灰を取り扱う企業が、県内7市町の耕作放棄地を活用し、ぶどうの栽培と、ワイン製造事業を展開。
- ぶどうは高知の高温多湿な気候・風土に適した品種とし、地元農家と協力して栽培。
- 高知大学との連携により、地元名産の「かつおのたたき」との相性を調査。「『かつおのたたき』に合うワイン」としてPR。地域食材とのコラボレーションにより、県内での宿泊など、滞在需要を喚起。
- ワイン会員制度「TOSAワイン同盟」を運営し、会員向けの収穫体験など、地域外との交流も促進。
- 集落活動センターを拠点とし、老人クラブや地元高校生に収穫・ラベルづくりの機会を設けるなど、地域活性化にも貢献。



地域の方々との収穫作業



ワイン醸造所内



高知県産のぶどうを使ったワイン

### 体制図



### 取組の成果

- 売上 : 6.9百万円 (H30) → 75.2百万円 (R5)
- ぶどう圃場数 : 4箇所 (R3) → 7箇所 (R5)
- 醸造所・販売店 (R4開設) の来場者数 : 50,000人/年 (R4)

ウェブサイト▶<https://www.tosawine.com/>